

「平和と憲法—武力なき平和」のリアリティ」を語る

9/
(土) 15
15:00~17:30

講演：水島 朝穂氏

早稲田大学法学学術院教授。法学博士。憲法学／法政策論。法学館憲法研究所客員研究員。「平和憲法のメッセージ」(<http://www.asaho.com/>)というホームページを開設し、1997年から毎週「直言」を発信。憲法の平和主義などについて、全国各地で年間20回以上講演してきた。長年ラジオ番組でレギュラーとしてコメントし、新聞やテレビでも数多くのコメント・論評。現在、憲法理論研究会運営委員長(代表)も務める。主な著書に、『きみはサンダーバードを知っているか もう一つの地球のまもり方』(コーディネーター、日本評論社)、『現代軍事法制の研究』(日本評論社)、『武力なき平和—日本国憲法の構想力』(岩波書店)、『憲法裁判の現場から考える』(共編著・成文堂)、『東日本大震災と憲法—この国への直言』(早稲田大学出版部)など。



「裁判と憲法—裁判員制度・死刑制度を考える」を語る

10/
(月・祝) 8
15:00~17:30

講演：村井 敏邦氏

一橋大学法学部長、龍谷大学法科大学院教授を経て、現在大阪学院大学法科大学院教授。元刑法学会理事長。法学館憲法研究所客員研究員。刑法、刑事訴訟法、刑事政策など幅広い分野に精通、法と心理学会などの立ち上げにも中心メンバーとして関与。誤判再審問題などでも積極的に発言。現在「WEB市民の司法」(<http://www.saiban-kenpo.org/>)で「村井敏邦の刑事事件・裁判考」を連載中。監獄人権センター代表も務める。主な著書に、『盗聴立法批判—おびやかされる市民の自由』(日本評論社、共著)、『刑法—現代の「犯罪と刑罰」[新版]』(岩波書店)、『民衆から見た罪と罰—民間学としての刑事法学の試み』(花伝社)、『被告人の事情／弁護人の主張—裁判員になるあなたへ』(編著、法律文化社)など。



「政治と憲法—選挙制度・政党のあり方」を語る

11/
(日) 4
15:00~17:30

講演：森 英樹氏

名古屋大学法学部長、同大理事・副総長、龍谷大学法科大学院教授を歴任。名古屋大学名誉教授。法学館憲法研究所客員研究員。日本学術会議会員・同学術と社会常置委員会委員長・全国憲法研究会代表・民主主義科学者協会法律部会副理事長なども歴任。愛知憲法会議事務局局長を長年務め、現在憲法会議代表委員。主な著書に、『検証・論理なき「政治改革」』(大月書店)、『新版・主権者はきみだ』(岩波ジュニア新書)、『市民的公共圏形成の可能性』(編著、日本評論社)、『現代憲法における安全』(編著、日本評論社)、『3・11と憲法』(白藤博行らと共編著、日本評論社)、『国家と自由・再論』(樋口陽一らと共編著、日本評論社)など。



浦部 法穂(法学館憲法研究所顧問)

神戸大学法学部長・副学長、名古屋大学大学院法学研究科教授を経て、現在法学館憲法研究所顧問、神戸大学名誉教授。法学館憲法研究所の公開研究会や公共訴訟研究会などの研究活動を主宰。そのホームページで「浦部法穂の憲法時評」(<http://www.jicll.jp/urabe/index.html>)を連載中。主な著書に、『違憲審査の基準』(頸草書房)、『いま、憲法学を問う』(共編著)(日本評論社)、『法科大学院ケースブック 憲法』(共編著)(日本評論社)、『憲法学教室(全訂第二版)』(日本評論社)、『憲法時評 2009-2011』(HuRP出版)、『憲法の本・改訂版』(共栄書房)など。

